

PRESTO® A40

6リットルリアクターの冷却 +20 °C から -10 °Cまで

Objective

このケーススタディでは6リットルガラスリアクターを使い PRESTO®A40 の冷却能力をテストします。PRESTO A40® は2mのメタルチューブによりガラスリアクターに接続されており、+20 °C から -10 °Cに冷却する様にプログラムされています。



Environment

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

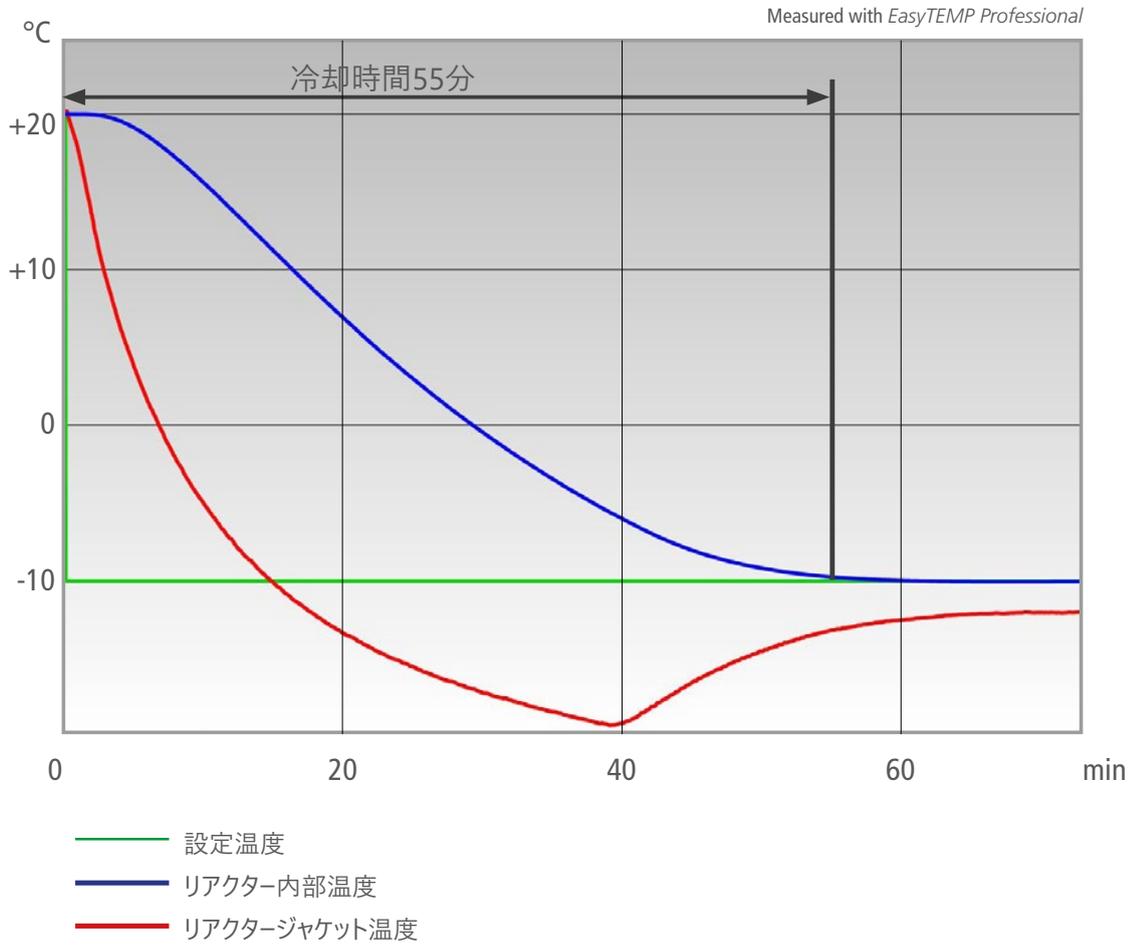
Test Conditions

JULABO ユニット	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	行わない
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマル HL60
リアクター	6 l ガラスリアクター (QVF) 循環液 5 l サーマル HL60
ジャケット容量	4.5 l
コントロール	外部制御 (ICC)



Test Results

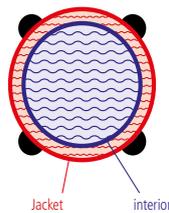
The PRESTO® A40 はオーバーシュート無しで +20 °C から -10 °C の冷却に55分かかりました。



Tip

リアクター保護の為に“バンドリミット”機能を使用してください。リアクター内部温度とジャケット温度差を設定することが出来ます。

Profile of reactor



Tip

チューブアダプターを使用すれば、チューブ捻じれを防止出来ます。

